

狭隘部対応 ウォータージェット機械はつり装置 (はつり装置は実用新案登録中)



はつり装置 上部(青色)と下部(緑色)が分割できます



はつり面

狭隘部での危険な 人力はつり作業を機械作業と するために開発された ウォータージェットはつり装置

従来、橋梁の伸縮装置下の橋座個所等の狭隘部をウォータージェットではつる場合、車両・機械等が入れる所では、パワーショベルの先端にはつり装置を取り付けたり、高所作業車に載せて機械はつりを実施していたが、そのような車両・機械が入れない場所では、足場を組んだ上でハンドガン等で人力はつり作業を行っていた。狭い足場上での人力はつり作業は、精度も低下し、危険も伴う作業となり、施工効率も低下する。

そこで、重機や高所作業車の入れない個所でも機械施工を可能にすべく開発したのが狭隘部対応ウォータージェットはつり装置である。この装置の動力発生装置は、クローラ式でキャリイも兼ねており、現場までの機材の人力運搬を省略することが可能である。

この装置のメリットは以下の通りである。

- ウォータージェットはつり装置の動力源はクローラ式キャリイ運搬車が兼用する。現場に車両が入れないような起伏、傾斜があっても、容易に近づくことが可能である。
- はつり装置に油圧ホースと超高圧水ホースを接続するだけで、ウォータージェットはつり作業をすることが可能となる。
- クレーン等が使用できず、機械の搬出入が困難な現場でも、この機械は組み立て分解が容易なため、人力での搬出入が可能である。(50kg/個以下に分解可能)
- ノズルユニットの寸法は縦158mm横140mm長さ1685mmであり、狭い箇所または奥行きのある狭隘部のはつりも可能である。
- 機械により反力を支えるため、ポンプの能力を最大限に生かし、予定の範囲を均一にはつることが可能である。
- はつり装置から離れた場所での遠隔操作が可能であり、より安全に作業することが可能である。
- 枠組足場内での作業を念頭に設計しているので許容重量内で、足場上に設置施工が可能である。

●詳しい工法、内容についてはインターネットで!

弊社ホームページ、または国土交通省新技術情報(NETIS)のホームページ内にある、**狭隘部対応ウォータージェットはつり工法**(登録番号KK-170039-A)を御確認下さい。